

# 平成16年度 病虫害発生予報 第14号

平成17年3月15日  
発表：福島県病虫害防除所

主要病虫害の発生状況と発生予想（多 やや多 並 やや少 ・少 - 対象外）

作物名	病虫害名	発生状況 (平成比)				予想発生量 (平成比)				備考
		県北	県南	会津	浜	県北	県南	会津	浜	
水 稲	イネいもち病	-	-	-	-					
	イネばか苗病	-	-	-	-					
イ チ ゴ	うどんこ病			-				-		
	灰色かび病			-				-		
	アブラムシ類			-				-		
	ハダニ類			-				-		
	アザミウマ類			-				-		
	オシロイソウシ			-				-		
冬春キュウリ	うどんこ病			-				-		
	褐斑病			-				-		
	ハダニ類			-				-		

予報の根拠の中で（+）は多発要因、（-）は少発要因、（±）は並発生要因であることを示す。

## A 普通作物 発生予報と防除対策

イネいもち病（育苗期）	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並			

### 1 予報の根拠

種子の更新率が高く、消毒済の購入種子の利用が定着している（±）。

天候予報（2月24日発表3か月予報）によると、4月の気温は平年並と予想されている（±）。

### 2 防除上注意すべき事項

自家採種等の未消毒種子を使用する場合は、病虫害ファクスサービス「ファピィ」情報番号20番を参照して種子消毒を徹底する。

福島県産種子はヘルシードTフロアブルの種子消毒を行っている。ヘルシードTフロアブルはチウラム剤を含むため、テクリードCやモミガードC等の銅剤で処理すると薬効の低下を招く。

被害稲わらやもみ殻などは伝染源となるので、育苗床への使用や、周辺への放置を避ける。

育苗温度管理および水管理はこまめに行い、過湿や過乾燥を避ける。

イネばか苗病	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並			

### 1 予報の根拠

種子の更新率が高く、消毒済の購入種子の利用が定着している（±）。

天候予報（3か月予報）によると、4月の気温は平年並と予想されている（±）。

## 2 防除上注意すべき事項

自家採種等の未消毒種子を使用する場合は、「ファピイ」情報番号20番を参照して種子消毒を徹底する。

福島県産種子はヘルシードTフロアブルの種子消毒を行っている。ヘルシードTフロアブルはチウラム剤を含むため、テクリードCやモミガードC等の銅剤で処理すると薬効の低下を招く。

消毒済み種子であっても塩水選を必ず実施する。

粉衣による種子消毒は浸種時に効果を発揮するので水温は12～15（水温10 以下の場合は出芽不良になりやすい）とし、浸種3日間は水を交換しない。

## B 野 菜

イチゴうどんこ病	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	やや多		-	やや多

### 1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査において、過去5年と比較して中通りおよび浜通り地方で発生ほ場率がやや高く、中通り地方では被害果の発生が多いほ場も散見された（+）。

### 2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

アブラムシ類（イチゴ）	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	やや多		-	並

### 1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、過去6年と比較して中通り地方で発生ほ場率がやや高かった（+）。浜通り地方の発生量は例年並であった（±）。

### 2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、抵抗性系統の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連続使用しないように注意する。

ハダニ類（イチゴ）	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	やや多	-	やや多

### 1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、過去5年と比較して県南および浜通り地方で発生ほ場率がやや高く（+）、一部ほ場では一葉当たり寄生虫数がやや多かった。県北地方では、発生ほ場率および一葉当たり寄生虫数は例年並であった（±）。

### 2 防除上注意すべき事項

既存薬剤の効果が低下していると思われる場合には、最寄りの農林事務所農業普及部、普及所または病害虫防除所までお問い合わせ下さい。

アザミウマ類（イチゴ）	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	やや多	-	やや多

### 1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、過去5年と比較して県南および浜通り地方で寄生花率がやや高く（+）、県南地方では発生ほ場率もやや高かった（+）。また、一部のほ場で被害果を確認した。県北地方では、発生ほ場率および寄生花率は例年並であった（±）。寄生種としては、ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマが確認された。

### 2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、抵抗性系統の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連続使用しないように注意する。

オンシツコナジラミ (イチゴ)	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	やや多	並	-	やや多

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、過去6年と比較して県北および浜通り地方で発生ほ場率および寄生葉率がやや高く(+)、一部のほ場ではすす病が多発していた。県南地方では、発生ほ場率および寄生葉率は例年並であった(±)。

2 防除上注意すべき事項

登録薬剤が少ないので注意して使用する。

うどんこ病(冬春キュウリ)	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並		-	並

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査において、過去5年と比較して中通りおよび浜通り地方で発生ほ場率および発病葉率は例年並であったが(±)、中通り地方では一部で発病葉率の高い発生も認められた。

2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

褐斑病(冬春キュウリ)	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	やや多	並	-	並

1 予報の根拠

3月上旬調査において、発病葉率は低いものの県北地方の一部ほ場で発生が確認された。この時期の調査では、過去5年確認されていない。

2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハダニ類(冬春キュウリ)	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並		-	並

1 予報の根拠

3月上旬の調査では、過去5年と比較して発生ほ場率および寄生葉率は例年並であった(±)。

2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、抵抗性系統の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連続使用しないように注意する。

天候予報

向こう1ヶ月(平成17年3月11日仙台管区气象台発表)の平均気温は平年並、降水量は東北日本海側は平年並か多く、東北太平洋側は平年並、日照時間は東北日本海側は平年並か少なく、東北太平洋側は平年並の見込みです。

# 病害虫防除情報ファクスサービス「ファピィ」

情報分類	情報発表日	情報番号	情報提供機関
総合案内	2005年3月17日	0-0503-02	福島県病害虫防除所
情報タイトル			枚数
病害虫防除情報ファクスサービス「ファピィ」の総合案内			1
			作物名
			共通

## 情報の種類と情報番号

情報の種類	番号	発表日	情報の内容	枚数
総合案内	0	3月17日	情報の種類、内容、発表日を示す	1
発生予察情報			(本県で発表した最新の発生予察情報など)	
定期予報	1 0	3月15日	平成16年度発生予報第14号	4
"	1 1	9月16日	平成16年度発生予報第8号(果樹)	3
"	1 2	9月28日	平成16年度発生予報第9号(野菜その他)	2
注意報	1 3	6月3日	平成16年度発生予察注意報第1号(リンゴ腐らん病)	2
"	1 4	6月11日	平成16年度発生予察注意報第2号(イネいもち病)	2
"	1 5	7月15日	平成16年度発生予察注意報第3号(休斑点米かみ類)	2
"	1 6	9月27日	平成16年度発生予察注意報第4号(トマトモグリバエ)	2
"	1 7	9月28日	平成16年度発生予察注意報第5号(ハスモンヨトウ)	2
特殊報	101	10月15日	平成15年度発生予察特殊報第1号	2
"	102	5月27日	平成16年度発生予察特殊報第1号	3
防除情報			(病害虫の具体的発生データや防除対策など)	
水 稲	2 0	3月9日	水稻の育苗期病害防除対策について	4
果 樹	3 3	3月16日	ナシ黒斑病の越冬状況と防除対策	1
野 菜	4 3	3月17日	イチゴにおける病害虫の発生状況と防除対策	3
"	4 8	9月28日	秋冬ネギにおける病害虫の発生状況と防除対策	1
"	5 0	3月17日	冬春キュウリ(施設)における病害虫の発生状況と防除対策	1
その他	6 4	5月27日	トマトハモグリバエの発生状況と防除対策	1
"	6 6	11月28日	イチゴにおける天敵を利用したハダニ類防除	2
農 薬	7 1	3月18日	平成15年10月～平成16年2月に登録が失効した農薬	6
"	7 5	5月28日	特定農薬(特定防除資材)に該当しない資材の取り扱い	6
"	7 6	6月10日	農薬危害防止運動	2
農薬登録情報	7 9	随 時	農薬登録の新規、変更、失効状況	1
気象情報	9 0	金曜夕方	金曜発表の1ヶ月予報、金曜発表の週間予報	2

は最新の情報であることを、 はこれまでに発表した情報であることを示しています

## F A X の操作方法

お手元のF A Xから「024(923)2010」に電話する。

ダイヤル回線の場合のみ「トーン(\*)」または「PB」ボタンを1回押す(入力信号をブッシュ信号に切り替える。ただし機種によって切り替えボタンが異なりますので、F A Xの取り扱い説明書を参照ください)。

音声案内に従い<sup>注1)</sup>、取り出したい情報番号<sup>注2)</sup>に続けて、「シャープ(#)」を押す。

「ピー」の音がしてから、通信ボタン(「受信」や「スタート」ボタンなど)を押す。

受話器を置く。

注1) 音声案内中でも、情報番号の入力はできます。

注2) 情報番号がわからない場合でも、F A Xの通信ボタンを押すだけで、総合案内の情報を取り出せます。

情報内容への質問や要望は病害虫防除所までご連絡ください。

TEL:024-938-4242 FAX:024-923-2012 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.jp

病害虫防除情報は、ファクスサービス(FAX:024-923-2010)で取り出せます。また病害虫防除所ホームページ(アドレス <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>)でも見る事が出来ます。

## おことわり

いつも病害虫防除情報ファクスサービス「ファピィ」をご利用いただきありがとうございます。機器の老朽化に加えファクスサービスの利用数減少により、本サービスの維持が困難になり2005年3月末をもちまして、サービスを停止することになりました。今後は、インターネットの福島県病害虫防除所ホームページを利用するようお願いいたします。

<http://www.aff.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>

なお、質問や要望がありましたら病害虫防除所までご連絡をお願いします。

TEL:024-938-4242 FAX:024-923-2010 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.jp